



しあわせホームタウン **甘楽**
HAPPY HOMETOWN KANRA



令和7年度

今年のまちづくり予算



甘 楽 町

令和7年度
2025年

目 次

施政方針	1
予算の規模	2
事業実施のための財源	3

主要なまちづくり事業 ※事情により年度途中で事業の変更や中止となる場合があります。

＜一般会計＞

1	町議会の運営	4
2	行政区の運営活動	4
3	「広報かんら」、「町民カレンダー」の発行	4
4	行政サービスの向上【新規】	5
5	デマンドタクシー「愛のりくん」の運行	5
6	上信電鉄の運行支援	6
7	地域おこし協力隊の活動	6
8	ふるさと納税の推進	6
9	友好都市との交流	7
10	交通指導員の活動	7
11	交通安全対策	7
12	防犯対策	8
13	国際交流	8
14	海外駐在員の活動	8
15	まちづくり定住応援金	9
16	移住定住支援	9
17	空き家対策	9
18	若年者の雇用支援	10
19	若年者の奨学金返還支援、就職支援	10
20	新商品研究開発支援	11
21	「かんらの天水」活用	11
22	定額減税補足給付金（不足額給付）	11
23	個人番号（マイナンバー）カード交付事業	12
24	高齢者スマホデビュー応援	12
25	金婚式と敬老のお祝い	12
26	老人クラブの活動支援	13
27	高齢者の見守りを兼ねた移動販売補助	13
28	高齢者補聴器購入補助	13
29	高齢者の健康増進	13
30	医療費の無料化（福祉医療費）	14
31	障害者福祉の推進	14
32	子どもたちの放課後の居場所づくり	15
33	結婚新生活支援	15
34	出産祝金	15
35	幼児教育・保育の支援【拡充】	16
36	保育料の無償化【拡充】	16
37	家庭子育て世帯応援金	16
38	地域子育て支援拠点事業【拡充】	17

39	病児・病後児保育	17
40	小学校・中学校・高校入学応援金	17
41	公立富岡総合病院と公立七日市病院の運営	18
42	予防接種	18
43	がん検診・健康診査	18
44	母子保健事業	19
45	妊婦のための支援給付交付金事業	19
46	環境対策への補助【拡充】	20
47	家庭ごみの収集処理	20
48	し尿処理	21
49	農業委員会の運営	21
50	農業の振興	21
51	オーガニックビレッジの推進	22
52	甘楽ふるさと館・道の駅甘楽の運営	22
53	畜産伝染病対策	22
54	農業体験	23
55	森林経営管理制度	23
56	ふるさとを離れる学生の支援	23
57	土地改良（農道や農業用水路の整備）	24
58	里山、山林の整備	24
59	有害鳥獣対策	25
60	林道の整備	26
61	企業誘致の促進	26
62	商工業者への金融支援	27
63	創業・事業継続支援と空き店舗の活用	27
64	那須地区こいのぼりの里整備事業【新規】	27
65	観光イベント	28
66	生活道路の維持補修	28
67	生活道路の整備	29
68	橋梁の維持補修	30
69	公園の整備	30
70	木造住宅の耐震化	30
71	住宅リフォームの補助	31
72	広域の消防と救急体制の整備	31
73	甘楽町消防団の運営	31
74	消防ポンプ自動車更新【新規】	32
75	防災対策【拡充】	32
76	外国語教育の推進	33
77	小学校の運営	33
78	中学校の運営	34
79	生涯学習の推進	34
80	文化財保護と民俗芸能の継承	35
81	国指定名勝 楽山園の運営	35
82	文化会館の運営	36
83	図書館（ら・ら・かんら）の運営	36
84	長岡今朝吉記念ギャラリーの運営	37

85	さくらマラソン大会の運営	37
86	学校給食の運営	37
87	学校給食の無料化	38
88	借入金（町債）返済	38

＜特別会計・企業会計＞

89	国民健康保険事業	39
90	介護保険事業	40
91	後期高齢者医療	41
92	水道事業	42
93	公共下水道事業	44
94	農業集落排水事業	45

施政方針

令和7年度予算編成にあたっては、町政の基本である町民の皆様が安全で安心して生活できることに重点を置きながら、子育て世帯に対する様々な支援事業、町道や教育施設などの公共施設の整備・改修を中心とする予算を編成いたしました。

物価高騰の影響により歳出予算が増加する厳しい財政状況のなか、子育て支援対策では保育料の完全無償化を実施いたします。主要な建設事業には国や県の補助金や適正な町債（町の借入金）の借入れを見込んだほか、町の貯金である各基金の繰入れを実施することで、不足する財源を確保いたしました。予算執行にあたっては、財政状況の変化により柔軟に対応し、実施事業の取捨選択や経常的な経費のより一層の圧縮に努めてまいります。

本年も、まちづくりの基本である、町民の声を反映した第6次総合計画「しあわせホームタウン甘楽」及び、甘楽町デジタル田園都市構想総合戦略に盛り込まれた各種事業を着実に推進していくため、限られた財源を重点的かつ効率的に執行していきます。

この冊子は、令和7年度の甘楽町の当初予算をわかりやすくまとめたものです。町の様々な施策の中でも町民に身近な事業の予算を掲載いたしました。町民の皆様に関心のある施策にいくらか使おうかをお知らせし、実現に向けて取り組んでいくことをお示しするものです。

今年度も、誰もが「しあわせ」を実感できる「ホームタウン」（ふるさと）を目指してまちづくりを進めてまいりますので、町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年4月

甘楽町長 森平 仁志

予算の規模（過去10年間の推移）

年 度	当初予算額	前年比較	増減率	(参考) 歳出決算額
令和7年度	62億1,900万円	1億9,600万円増	3.3%増	
令和6年度	60億2,300万円	5億700万円減	7.8%減	
令和5年度	65億3,000万円	5,600万円 増	0.9%増	69億7,427万円
令和4年度	64億7,400万円	7億900万円 増	12.3%増	58億8,925万円
令和3年度	57億6,500万円	4億9,800万円 増	9.5%増	66億7,272万円
令和2年度	52億6,700万円	1,500万円 減	0.3%減	72億2,517万円
令和元年度	52億8,200万円	4億3,600万円 増	9.0%増	51億7,193万円
平成30年度	48億4,600万円	2億3,800万円 減	4.7%減	49億4,510万円
平成29年度	50億8,400万円	1億800万円 増	2.2%増	50億6,630万円
平成28年度	49億7,600万円	25億2,800万円 減	33.7%減	51億2,024万円

令和7年度予算の特徴は…



一般会計予算の総額は62億1,900万円、前年比3.3%増の予算となりました。

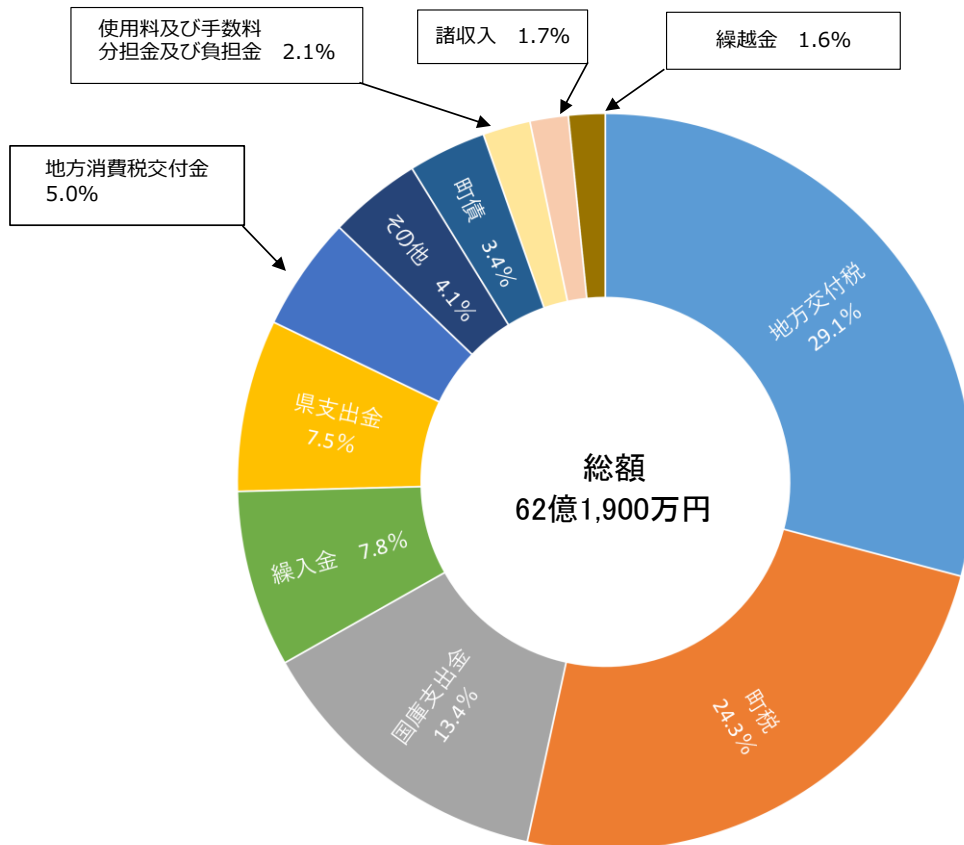
増額した主な要因は、児童手当の拡充や保育料の完全無償化などの子育て支援対策経費、行政システム標準化にともなう電算経費などが増加したことによるものです。

新たな施策としては、「子ども食堂」支援事業、子育て短期支援事業の創設、省エネ家電購入補助、「書かない窓口」の導入、那須地区こいのぼりの里整備事業などを計上しました。

このほか、主な予算は次ページ以降で紹介します。

事業実施のための財源

事業を行うには資金が必要です。前ページの予算総額62億1,900万円を、どのような財源でまかなうのかをグラフでお知らせします。



説明

地方交付税	18億1,100万円	全ての地方公共団体が一定の水準で行政事務が行えるよう、国が集めた税金の一定割合を再配分する制度
町税	15億1,026万円	住民税、固定資産税、法人町民税など町が徴収する税
国庫支出金	8億3,458万円	事業の実施のために国から交付される負担金、補助金など
県支出金	4億6,934万円	事業の実施のために県から交付される負担金、補助金など
地方消費税交付金	3億1,100万円	地方消費税の1/2が、人口や統計数値に応じて市町村に交付される
繰入金	4億8,261万円	町が目的に応じて積み立てている基金(預金)の取り崩し
町債	2億1,310万円	町が事業を行うために資金調達として負担する債務で、借入金(ローン)にあたる
諸収入	1億442万円	文化会館入場料、販売収入、外部機関からの納付金など
使用料及び手数料 分担金及び負担金	1億3,021万円	町有施設の使用料や廃棄物処理手数料
繰越金	1億円	前年度繰越金
その他	2億5,246万円	地方譲与税等の国からの交付金、預金利息、土地貸付料、寄附金

1 町議会の運営

5,706 万円

町民の代表である議員は、町民の声を町政に反映させるため、条例・予算などを議会で議論し決定しています。議会は、町と相互に抑制と均衡を図り、町民が安心して暮らせるまちづくりのために活動しています。年4回の定例議会、毎月開催の全員協議会を中心に、必要な場合は臨時会を開いて会議を開催しています。

主な経費

議員報酬、手当、共済費 12人分 5,448 万円

議員活動のための事務経費 258 万円

財 源

町の負担 5,706 万円

2 行政区の運営活動

1,301 万円

行政連絡区に広報等の配布や区内の行政事務を委託して、住民と町との情報連携、円滑な行政サービスに努めています。町には1区から28区までの25行政連絡区があります。

主な経費

区長の報償金 25人 世帯割1,200円 平等割80,000円 704 万円

区長代理の報償金 29人 世帯割300円 平等割20,000円 179 万円

組長の報償金 対象世帯数4,200世帯 世帯割600円 252 万円

災害補償、自治会活動保険料など 166 万円

財 源

町の負担 1,301 万円

3 「広報かんら」、「町民カレンダー」の発行

571 万円

町政や町の話題等を町民の皆様にお知らせするため、「広報かんら」、「おしらせ版」、「町民カレンダー」を作成し発行します。

主な経費

「広報かんら」印刷代 毎月1回 4,900部発行 474 万円

「令和8年度町民カレンダー」印刷代 5,350部発行 97 万円

財 源

広報かんら、町民カレンダー広告料(協賛企業等) 92 万円

町の負担 479 万円

4 行政サービスの向上【新規】

292 万円

「書かない窓口」システムと対面式セルフレジを導入し、行政手続きの負担軽減とともに、業務の効率化と公金収納の利便性向上を図ります。

主な経費

書かない窓口システム	210 万円
セミセルフレジ借上料	82 万円

財 源

国からの交付金	93 万円
町の負担	199 万円

5 デマンドタクシー「愛のりくん」の運行

1,210 万円

固定の停留所を設けず、町内全域ならどこでも乗降できるデマンド型タクシーの運行を行っています。運行事業者は(有)昭和タクシーです。

デマンドタクシーの維持により、交通弱者及び公共交通空白地域住民の日常生活に不可欠な交通移動手段を確保し、外出の促進と地域の活性化を図ります。

主な経費

デマンドタクシー運行補助金	1,210 万円
---------------	----------

財 源

県からの補助金	48 万円
町の負担	1,162 万円



<登録・利用予約>

フリーダイヤル
0120-74-0013
午前8時～午後6時

<利用料金>

乗車1回あたり
おとな300円
こども100円

令和6年度の利用者数は延べ6,141人、登録者は1,455人(令和7年3月31日現在)です。運転免許を自主返納した方には回数券を贈呈しています。



6 上信電鉄の運行支援

1,833 万円

通勤・通学者の重要な公共交通である上信電鉄の運行を支援するため、群馬県及び沿線市町村(高崎市・富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町)が共同して経営再建計画に基づき財政支援をしています。

主な経費

上信電鉄運行支援(レール、枕木、車両整備費など) 1,833 万円

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 1,600 万円

町の負担 233 万円



7 地域おこし協力隊の活動

4,900 万円

都市地域から甘楽町に住み票と生活の拠点を移す人を、町が募集して地域おこし協力隊として委嘱するもので、隊員は一定期間(最長3年)町に居住し、町のPRや地域活動など地域おこしの活動を行います。また、学生に町の魅力発見や地域協力活動を体験してもらうインターン事業を実施します。

主な経費

隊員活動報償金(給与) 13名分 2,920 万円

民間住宅家賃補助、自動車借上料など 1,558 万円

地域おこし協力隊インターン事業 422 万円

財 源

町の負担(報償金や活動経費などは特別交付税として国から交付されます。) 4,900 万円

8 ふるさと納税の推進

2,617 万円

ふるさと納税に係る返礼品の費用や、ポータルサイトへの掲載、寄附金の収納手続などを事業者へ委託し、寄附金の増額を図るとともに、町の特産品などの周知拡大に取組みます。寄附額の目標額は5,460万円です。

主な経費

返礼品費用 1,775 万円

ポータルサイト掲載委託料、収納手数料 842 万円

財 源

町の負担など 2,617 万円

9 友好都市との交流

38 万円

東京都北区と、バレーボールやサッカーなどスポーツを中心に継続的な交流事業を実施しています。また、山形県天童市で開催される織田信長サミットに参加します。

主な経費

東京都北区交流事業	21 万円
織田信長サミット参加経費	17 万円

財 源

町の負担	38 万円
------	-------

10 交通指導員の活動

265 万円

通学路の誘導や交通安全運動、イベント開催時など地域の安全を見守る交通指導員10人が活躍しています。

主な経費

交通指導員10人の報償金	230 万円
交通指導員10人の活動経費等	35 万円

財 源

町の負担	265 万円
------	--------

11 交通安全対策

325 万円

町内交通事故の撲滅と子どもや高齢者などの交通弱者が安心して過ごせるために、交通安全運動やカーブミラーの設置などの交通安全対策に取り組みます。

主な経費

交通安全運動の経費	114 万円
カーブミラーなどの設置や修繕 10カ所	198 万円
高齢者運転免許証自主返納支援(デマンドタクシー愛のりくん回数券など)	13 万円

財 源

反射ベスト販売代金	1 万円
町の負担	324 万円



1 2 防犯対策

777 万円

町民が安全で安心して暮らせるため、防犯灯の維持管理・新規設置を行い、地域の防犯委員とともに防犯活動を推進します。また、特殊詐欺電話対策機器を希望する高齢者世帯へ貸し出し、特殊詐欺を防止します。

主な経費

防犯灯、防犯カメラの新規設置	防犯灯6基、防犯カメラ1基予定	31 万円
防犯灯の電気代、修繕など維持管理		651 万円
防犯カメラ電気代		11 万円
防犯委員と防犯協会の活動費		84 万円

財 源

町の負担	777 万円
------	--------

1 3 国際交流

1,073 万円

姉妹都市であるイタリア共和国チェルタルド市の青年使節団受け入れ、町の中学生研修団のチェルタルド市への派遣などにより、国際交流を推進します。

主な経費

甘楽町中学生研修団派遣	779 万円
チェルタルド市青年使節団の受け入れなど	294 万円

財 源

企業版ふるさと納税	300 万円
町の負担	773 万円



チェルタルド市庁舎

1 4 海外駐在員の活動

617 万円

イタリアチェルタルド市在住の日本人を駐在員に任命し、姉妹都市交流事業など各事業における連絡調整や、ワインやオリーブオイルなどの輸入の手続きを委託しています。今年は、事務所開設10周年にあたり、食の祭典「ボッカチェスカ」に参加し、記念式典を実施します。

主な経費

海外駐在員活動委託料	161 万円
ボッカチェスカ参加経費	249 万円
海外駐在事務所10周年記念式典	207 万円

財 源

都市農村交流基金繰入金	83 万円
町の負担	534 万円

1 5 まちづくり定住応援金

910 万円

定住化による活力あるまちづくりを推進するため、新築家屋等を取得した方に応援金を交付します。令和3年度より町外からの転入者、中学生以下の子どもがいる世帯、住宅用の土地を購入した方、町内業者で施工したなどの条件により金額を加算する制度に拡充しています。

主な経費

まちづくり定住応援金 70戸見込み 910 万円

財 源

町の負担 910 万円

1 6 移住定住支援

200 万円

甘楽町への移住定住を促進するため、国・県とともに東京圏から町への移住者を対象に、移住支援補助金を交付します。

主な経費

移住支援補助金 200 万円
(単身:60万円、2人以上の世帯100万円、18歳未満の子ども1人あたり100万円を加算)

財 源

県からの補助金 150 万円

町の負担 50 万円

1 7 空き家対策

280 万円

増え続ける空き家の対策のため、危険な空き家を解体した場合に補助金を交付します。また、空き家の利活用を推進するため、空き家をリフォームして居住する方に補助金を交付します。

主な経費

危険な空き家の解体補助金(不良住宅及び特定空き家除却補助金) 4戸予定 200 万円

空き家リフォーム補助金 1戸予定 50 万円

空き家片付け応援補助金 3戸予定 30 万円

財 源

国からの交付金 125 万円

町の負担 155 万円



18 若年者の雇用支援

255 万円

若者の帰町や定住を推進するため、町内企業が大学や高校等の卒業者を正社員として採用した場合に、事業所に助成金を支給します。助成額は大卒等25万円/人、高卒10万円/人です。また、就職した本人(外国人含む)にも10万円を助成しています。

主な経費

大卒者等新卒採用 (5名)	125 万円
高卒者新卒採用 (4名)	40 万円
本人への助成 (9名)	90 万円



財 源

町の負担	255 万円
------	--------

19 若年者の奨学金返還支援、就職支援

302 万円

『かんら未来人財応援事業』として、将来を担う若者の定住及び町内企業の活性化を図るため、町内に定住する若者又は町内企業で就業する若者が返済する奨学金の一部を支援します。支援は30歳になるまでの期間で、最長5年、総額60万円です。また、新規事業として東京圏内から県内企業の面接等を受ける場合に必要な交通費の一部を補助します。

主な経費

奨学金返還支援助成金 30人見込み	300 万円
地方就職支援金【新規】 6,000円×3人	2 万円

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	100 万円
県の補助金	1 万円
町の負担	201 万円



＜奨学金返還支援助成金制度のご案内＞

○対象となる奨学金

独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金及び第二種奨学金

○対象者(要件の一例)

- ・年度の4月1日現在で30歳未満の人
- ・奨学金の貸与を受けて、その返還を行っている人
- ・正規雇用により就業し、継続して勤務していること(ただし、公務員の方は支援対象外です)

○助成金は、年度内に返還した奨学金の額の2分の1以内で、年間の上限額は下記のとおりです。助成期間は最長5年間(60月分)です。

- ・町内に住所を有し、かつ、町内企業で就業する人 12万円 (5年間で最大60万円)
- ・町内に住所を有する人 10万円 (5年間で最大50万円)
- ・町内企業で就業する人(住所は町外でも可) 2万円 (5年間で最大10万円)

20 新商品研究開発支援

90 万円

町の産業の活性化を図るため、新たに研究開発される食品、工芸品等に対し経費の一部を助成します。補助率は8/10で、上限50万円まで支援します。

また、県と町の共同により、新たな技術や製品開発にかかる経費の一部も助成します。補助率の上限は群馬県が40万円、甘楽町が40万円です。

主な経費

町新商品研究開発支援補助金(1件)	50 万円
ぐんま技術革新チャレンジ補助金(1件)	40 万円

財 源

町の負担	90 万円
------	-------

21 「かんらの天水」活用

416 万円

「かんらの天水」は、災害への備え、防災意識の醸成、地域の活性化、環境問題への関心、持続可能な施策の展開などを目的に、産官学民の連携によって令和3年11月に商品化されました。水源となる山林の間伐と植林事業により、水源保全も進めています。

主な経費

製造業務委託料	369 万円
給水袋など	47 万円

財 源

企業版ふるさと納税	300 万円
飲料水販売収入	26 万円
町の負担	90 万円



22 定額減税補足給付金(不足額給付)

2,502 万円

令和6年度に実施した定額減税補足給付金(調整給付)において、支給額に不足が生じた方等に対し、給付金を支給します。

主な経費

定額減税調整給付金(不足額給付)	2,050 万円
人件費、システム改修費など	452 万円

財 源

国からの交付金	2,502 万円
---------	----------

2 3 個人番号（マイナンバー）カード交付事業

457 万円

個人番号カードは、行政のデジタル化を進める上での基盤となるもので、すべての国民が取得することを目指しています。

主な経費

個人番号カード交付事務費 人件費、郵便料など 457 万円

財 源

国からの交付金 457 万円

2 4 高齢者スマホデビュー応援

88 万円

60歳以上の方を対象にスマートフォンへの買い替えや新規契約した際に、補助金を支給するとともに、スマホ教室を開催してデジタルの活用を支援します。

主な経費

スマホデビュー応援補助金 30 万円

スマホ教室 58 万円

財 源

町の負担 88 万円



2 5 金婚式と敬老のお祝い

236 万円

婚姻後50周年を迎えたご夫婦に対し、慶祝状と記念品を贈呈して長寿をお祝いしています。また、節目の年齢を迎えた高齢者に対し、敬老祝金及び特別敬老祝金を贈呈して長寿を祝い、敬老の意を表しています。

主な経費

金婚式記念品 20組見込み 10 万円

特別敬老祝金(100歳到達) 10万円 6人見込み 60 万円

敬老祝金(88歳、99歳、101歳以上) 1万円 144人見込み 144 万円

敬老祝品(89歳～98歳) 記念品支給 500人見込み 22 万円

財 源

町の負担 236 万円



26 老人クラブの活動支援

94 万円

高齢者福祉の推進を図るため、各老人クラブへ補助金を交付するものです。

主な経費

町内各老人クラブ、町老人クラブ連合会 81 万円

85歳以上会費分補助(250人見込み) 13 万円

財 源

県からの補助金 49 万円

町の負担 45 万円

27 高齢者の見守りを兼ねた移動販売補助

78 万円

高齢者が安心して日常生活を送れるように、高齢者の見守りを兼ねて移動販売を実施している事業者に対し、その経費の一部を助成しています。

主な経費

運営費助成(月額1万円) 48 万円

車両購入費等助成(補助対象経費の1/2 上限30万円) 30 万円

財 源

町の負担 78 万円

28 高齢者補聴器購入補助

63 万円

満65歳以上で障害者手帳の交付を受けていない高齢者に対し、専門医から補聴器の装用を必要と認められた場合、購入費の1/2(上限25,000円)を補助いたします。

主な経費

補聴器購入補助金 63 万円

財 源

町の負担 63 万円

29 高齢者の健康増進

1,512 万円

後期高齢者医療被保険者の健康増進を図るため、健康診査を実施し、人間ドック検診費を助成します。

主な経費

健康診査委託料 790人 703 万円

高齢者の人間ドック助成 270人 809 万円

財 源

後期高齢者医療広域連合からの助成金 1,193 万円

町の負担 319 万円

30 医療費の無料化（福祉医療費）

1億828 万円

子ども、重度心身障害者、母子家庭の母と子、父子家庭の父と子の健康と福祉の増進を目的に、医療機関窓口で支払う自己負担金を福祉医療費として公費で支給しています。実質医療費が無料となる制度で、令和4年度より中学生までの子どもから高校生世代までに拡充し、令和6年1月からは母子・父子家庭の所得制限を撤廃しました。

主な経費

中学生までの子ども、高校生世代の福祉医療費	対象者1,531人	5,327 万円
重度心身障害者、高齢重度障害者の福祉医療費	対象者250人	4,560 万円
母子家庭、父子家庭の福祉医療費	対象者207人	719 万円
事務手数料など		222 万円

財 源

県からの交付金	5,319 万円
地域福祉基金(町が福祉のために積み立てている貯金)から繰り入れ	1,500 万円
町の負担	4,009 万円

31 障害者福祉の推進

4億6,347 万円

障害者の訓練費や自立支援医療費等の負担を軽減することで、自立した日常生活、社会生活を送れるよう支援するものです。

主な経費

障害者自立支援介護給付費	3億2,641 万円
自立支援医療給付費	2,514 万円
地域生活支援事業	3,113 万円
障害児通所給付費	6,710 万円
その他委託料・補助金など	1,369 万円

財 源

国からの交付金	2億1,904 万円
県からの補助金	1億1,035 万円
地域活動支援センター管外利用者負担金など	148 万円
町の負担	1億3,260 万円

3 2 子どもたちの放課後の居場所づくり

2,679 万円

子育て支援として学童保育所に関する費用を計上し、円滑な管理運営を行います。

主な経費

甘楽町学童保育所指定管理者委託料	1,834 万円
甘楽町学童保育所保育料補助金(同時利用2人目以降半額補助)	65 万円
放課後子ども教室推進事業費	780 万円

財 源

国からの交付金	483 万円
県からの交付金	711 万円
放課後子ども教室負担金	12 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	1,300 万円
町の負担	173 万円



3 3 結婚新生活支援

180 万円

結婚を機に新たに住宅を購入、リフォームまたは賃貸する新婚夫婦に、住居費およびリフォーム費用、引越費用の一部を支援します。

主な経費

結婚新生活支援補助金交付	180 万円
--------------	--------

要件: 夫婦双方65歳以下、所得800万円未満 上限30万円

ただし、夫婦双方29歳以下、所得500万円未満の場合は上限60万円

財 源

県からの補助金	90 万円
町の負担	90 万円

3 4 出産祝金

300 万円

生まれた子どもの健全な育成を目的に、出産された方に出産祝金を支給しています。

主な経費

出産祝金(甘楽町商工会商品券) 50,000円×60人	300 万円
-----------------------------	--------

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	300 万円
--------------------	--------



3 5 幼児教育・保育の支援【拡充】

4億6,253 万円

保育を必要とする保護者が安心して子どもを預けられるよう、めぶきの森かんら、かんら保育園及び管外委託に関する運営経費を支出するほか、給食費や延長保育等に係る補助金を支援します。令和7年度は、新規事業として、めぶきの森かんらの増築工事補助金、障がい児保育補助金、入所待機解消支援補助金を交付します。

主な経費

めぶきの森かんら 園児見込み数 205人	2億2,236 万円
かんら保育園 園児見込み数 120人	1億3,704 万円
管外施設型給付費	4,723 万円
給食費補助金	1,177 万円
めぶきの森かんら増築工事補助金【新規】	2,277 万円
障がい児保育・入所待機解消補助金【新規】	650 万円
その他の補助金	1,486 万円

財 源

国からの交付金	2億927 万円
県からの補助金	9,104 万円
アスカ教育基金繰入金	750 万円
町の負担	15,472 万円



3 6 保育料の無償化【拡充】

3,350 万円

町では、令和7年度から子育てに伴う家計の負担を軽減するため、町内在住のすべての子どもにかかる保育料を無償化します。

減免額

保育料の減免見込み	3,350 万円
第1子 2,100万円 第2子 900万円 第3子以降 350万円	

3 7 家庭子育て世帯応援金

243 万円

保育所等に通所していない0歳から3歳の児童で、保護者または祖父母等が家庭で子育てをしている世帯へ応援金を支給します。

主な経費

応援金(甘楽町商工会商品券) 児童1人あたり 月額2,500円	243 万円
---------------------------------	--------

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	200 万円
町の負担	43 万円

38 地域子育て支援拠点事業【拡充】

1,417 万円

子育て中の親子の相互交流や、子育ての不安・悩みを専任の職員に相談できる子育て支援センターの運営や、ファミリーサポートセンター事業など、子育てしやすい環境を整備しています。令和7年度は、新規事業として、子育て短期支援事業、こども食堂経費補助事業を実施します。

主な経費

子育て支援センターの運営	1,361 万円
ファミリーサポートセンター事業	22 万円
子育て短期支援事業(ショートステイ、トワイライトステイ)【新規】	9 万円
こども食堂活動経費補助金【新規】	25 万円

財 源

国からの交付金	454 万円
県からの交付金	454 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	300 万円
町の負担ほか	209 万円

39 病児・病後児保育

1,549 万円

児童が病気または病気の回復期のため集団生活が困難な時期に、保護者の就労や病気等のやむを得ない理由により家庭で保育できない時に預かる、病児・病後児保育を実施し、子育て環境の充実を図ります。

主な経費

病児保育事業業務委託料	945 万円
病後児保育事業業務委託料	604 万円

財 源

国からの交付金	516 万円
県からの交付金	516 万円
富岡市の負担金	55 万円
町の負担	462 万円

40 小学校・中学校・高校等入学応援金

1,300 万円

小学校、中学校、高等学校等への入学時に1人あたり5万円の応援金を支給し、子育て世帯を支援します。

主な経費

入学応援金(小学1年70人、中学1年82人、高校1年108人)	1,300 万円
---------------------------------	----------

財 源

町の負担	1,300 万円
------	----------

4 1 公立富岡総合病院と公立七日市病院の運営

2,424 万円

当地域の拠点病院である公立富岡総合病院と公立七日市病院は、富岡地域医療企業団が経営を担っています。富岡市と甘楽町は開設者（運営者）として病院建設費や医療用機械器具購入費などの一部を負担しています。

主な経費

富岡地域医療企業団負担金 2,424 万円

財 源

町の負担 2,424 万円

4 2 予防接種

6,248 万円

感染症から身を守り安心して暮らせるように、予防接種の体制を整備し、町民の健康保持を支援します。

主な経費

予防接種委託料・医薬品ほか 6,248 万円

財 源

国からの交付金 166 万円

ふるさとづくり寄附金（ふるさと納税） 300 万円

町の負担 5,782 万円

4 3 がん検診・健康診査

2,317 万円

町民の健康を保持するため、がん検診や住民健診、健康教育を通して、疾病の予防・早期発見を行います。また、無料の健康相談（健康ダイヤル24）を24時間体制で実施しています。

主な経費

がん検診（胃がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、前立腺がん、肺がん） 1,853 万円

住民健康診査、歯科健診（20歳・30歳・40歳） 255 万円

医療用補整具（ウイッグ、人工乳房等）購入助成金 24 万円

健康ダイヤル24、若年がん患者在宅療養支援など 185 万円

財 源

国からの交付金 11 万円

県からの補助金 179 万円

受診者の負担金 171 万円

町の負担 1,956 万円



4 4 母子保健事業

2,125 万円

妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制を整え、子育てしやすいまちづくりを進めます。不妊症・不育症・未熟児養育医療に係る経費を支援します。

主な経費

妊娠出産包括支援事業(妊婦健診、1か月児健診など)	105 万円
子ども子育て支援(産後ケア事業など)	402 万円
未熟児養育医療	80 万円
不妊・不育症治療費等補助	335 万円
妊婦・乳幼児健診、妊婦歯科健診など	1,033 万円
ブックススタート事業	17 万円
その他事務経費	153 万円

財 源

国・県からの交付金	455 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	600 万円
町の負担ほか	1,070 万円



4 5 妊婦のための支援給付交付金事業

1,609 万円

「妊婦等包括相談支援」と「経済支援」を一体的に実施して、すべての妊婦・子育て家庭が、安心して出産・子育てができる環境を整備します。

主な経費

妊婦等包括相談支援	1,004 万円
経済的支援 妊娠届時・出生届時に各5万円	605 万円

財 源

国からの交付金	1,249 万円
県からの交付金	162 万円
町の負担	198 万円



4 6 環境対策への補助【拡充】

661 万円

リサイクル推進のため、資源ごみを集団回収しているPTA、子ども会に奨励金を支給します。また、資源ごみの分別収集の奨励金として、売上額の約70%を各行政区へ還元します。生ごみ処理機等設置補助金、スズメバチ等駆除費補助金、温暖化防止対策として住宅用蓄電池設置補助金を継続するほか省エネ家電等購入補助金を新設しました。

主な経費

PTA、子ども会の廃品回収への補助金	1kg当たり3円を補助	30 万円
各行政区への分別収集補助金など	人口割97円 平等割20,000円	169 万円
生ごみ処理機等設置補助金(電動式生ごみ処理機、コンポストなど)		41 万円
スズメバチ等駆除費補助金	駆除費の1/2 最大10,000円	22 万円
住宅用蓄電池設置補助金	補助単価 1万円/1kwh 上限額5万円	100 万円
省エネ家電等購入費補助金【新規】		200 万円
防犯カメラ購入費、河川水質検査など		99 万円

財 源

分別収集回収金	169 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	200 万円
町の負担など	292 万円



4 7 家庭ごみの収集処理

2億1,294 万円

各家庭から排出されるごみ(一般廃棄物)を適切に収集運搬するために、各ごみの種類に応じて指定袋を作成し、住民の方々のごみ出しの協力により収集運搬を円滑に実施します。

町には焼却施設がないため、富岡市清掃センターへ焼却委託をしています。

主な経費

ごみ指定袋作成費、販売委託料	1,289 万円
富岡市清掃センターごみ焼却委託料	1億3,128 万円
ごみ収集処理委託料	4,546 万円
その他ごみ(小型家電、乾電池、蛍光灯、不法投棄処理など)処理経費	280 万円
ごみ埋立処理経費	2,051 万円

財 源

ごみ指定袋販売収入など	3,963 万円
公共施設等整備基金繰入金	1,000 万円
町の負担など	1億6,331 万円



4 8 し尿処理

2,723 万円

下水道事業の整備区域外について、合併処理浄化槽の設置を推進し水質浄化に努めています。今後も合併浄化槽の設置に要する経費の補助をはじめ、汲み取り槽や単独浄化槽から合併浄化槽へ転換した場合の宅内排水設備工事に要する経費を補助する制度を運用し、設置・転換を促進します。

主な経費

合併処理浄化槽設置補助金	140 万円
合併処理浄化槽宅内排水設備、維持管理補助金	133 万円
衛生管理センター負担金	2,450 万円

財 源

国・県からの補助金	144 万円
町の負担など	2,579 万円

4 9 農業委員会の運営

608 万円

農地法に基づく農地の売買、転用、賃貸借の許可に関する事務を行います。また、農地の利用状況調査及び農地利用集積による利用権設定の斡旋等を行い、遊休農地の解消に努めます。

主な経費

農業委員人件費(農業委員・農地利用最適化推進委員各8名)	327 万円
農地利用最適化事業調査等	281 万円

財 源

県からの交付金など	233 万円
町の負担	375 万円

5 0 農業の振興

976 万円

農業者及び農業団体に対する各種補助事業の実施、地産地消の推進などの取組みを進め、農業振興を推進します。

主な経費

農業次世代人材投資資金交付金	300 万円
蚕糸業継承対策事業補助金	63 万円
農業経営収入保険加入促進助成金 上限5万円	160 万円
農地利用効率化等支援交付金	72 万円
農業経営力向上事業補助金、地産地消に係る経費など	381 万円

財 源

県からの補助金	598 万円
町の負担など	378 万円

5 1 オーガニックビレッジの推進

983 万円

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んで、地域ぐるみの取組を進める町(オーガニックビレッジ)を推進します。

主な経費

有機農業産地づくり推進事業	787 万円
環境保全型農業直接支援対策交付金	196 万円

財 源

県からの補助金	747 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	184 万円
町の負担	52 万円

5 2 甘楽ふるさと館・道の駅甘楽の運営

8,394 万円

甘楽ふるさと館は、自然を生かした体験事業を通して都市農村交流や産業振興を進めています。道の駅甘楽は、地元農産物などの販売により地域活性化を図るとともに、来訪者へ町の魅力を発信しています。

主な経費

甘楽ふるさと館管理運営委託料	7,622 万円
施設修繕、維持管理	629 万円
土地賃借料など	143 万円

財 源

甘楽ふるさと館使用料	6,442 万円
東京都北区からの助成金	1,180 万円
都市農村交流基金繰入金	440 万円
町の負担など	332 万円



5 3 畜産伝染病対策

91 万円

CSF(豚熱)などの畜産関係の伝染病対策として、家畜自衛防疫推進協議会により各種予防ワクチン接種を行い、伝染病防止に取り組めます。

主な経費

畜産伝染病対策	91 万円
---------	-------

財 源

町の負担	91 万円
------	-------

5 4 農業体験

156 万円

ふるさと農園の野菜作り、那須地区のちいじがきそば作り、信州屋東側の桑園での桑の実の収穫体験など、農業体験により農業振興を図ります。

主な経費

甘楽ふるさと農園管理運営、桑園整備委託	75 万円
施設維持管理費	54 万円
土地賃借料など	27 万円

財 源

町の負担ほか	156 万円
--------	--------



5 5 森林経営管理制度

550 万円

森林経営管理制度とは、町から森林の所有者に制度利用の意向調査を行い、管理を委託したいと意向のあった場合に、森林の現地調査や境界確認等を行い、町が当該森林を管理する権利を設定します。その後、森林の状況に応じて、民間事業者へ経営管理を委託するものです。森林環境譲与税交付金を活用して、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ります。

主な経費

森林経営管理制度実施委託料	550 万円
---------------	--------

財 源

森林環境譲与税基金繰入金	550 万円
--------------	--------

5 6 ふるさとを離れる学生の支援

139 万円

町から親元を離れて、町外で暮らしている学生に対して町の農産物加工品の詰め合わせセットを送り、学生を支援します。

主な経費

甘楽町ふるさと甘楽仕送り便	139 万円
---------------	--------

財 源

ふるさとづくり寄附金（ふるさと納税）	100 万円
町の負担	39 万円

5 7 土地改良（農道や農業用水路の整備）

3,080 万円

農業生産の向上に向け、運搬や作業の効率化のための農道整備、作付けに必要な用水の供給・排水のための農業用水路の整備・更新を行います。

主な経費

農道や農業用水路の整備 3,080 万円

【予定箇所】

小原(小幡)、畑ヶ中・山岸(上野)、壁谷戸(金井)、向井田(造石)

財 源

県からの補助金 1,137 万円

町の負担 1,943 万円



5 8 里山、山林の整備

1,598 万円

ぐんま緑の県民基金を活用して、地域の団体と協力して里山や山林などの森林環境の整備を行います。今年度は天引地区の整備用地購入と、団体が実施する里山整備や整備後の維持管理活動に補助金を交付します。

主な経費

荒廃林整備 308 万円

整備後の維持管理活動補助金 25 万円

山林整備用地購入費 1,082 万円

樹木粉碎機購入費 183 万円

財 源

ぐんま緑の県民基金 808 万円

受益者負担金 93 万円

町の負担 697 万円



「ぐんま緑の県民税」とは
大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、平成26年度から導入された群馬県の税金です。現在の税額は、県民税均等割として年間一人700円です。
甘楽町では、この税收の一部を補助金として受け取り、荒廃した里山や竹林などの整備に活用しています。



59 有害鳥獣対策

454 万円

有害鳥獣による人的被害、農林水産物等への被害を防止するための施策を進めます。また、狩猟免許の取得、銃砲等の所持の許可及び購入する費用の一部を助成しています。

令和5年度から、電気柵等の購入に係る経費の一部を助成する、町独自の補助金制度があります。

主な経費

有害鳥獣駆除委託料	265 万円
狩猟免許取得等補助金	41 万円
鳥獣害防止対策補助金	125 万円
その他経費	23 万円

財 源

県からの補助金	266 万円
町の負担	188 万円



6 0 林道の整備

3,080 万円

林業・特用林産物の生産性の向上を図りながら、山間地域の連絡道路や山間部の集落の生活道としての役割を担う林道と林業経営のための作業道の整備を進めます。また、森林資源の循環利用を進めていきます。

主な経費

林道整備事業(稲含高倉線・中郷雲津線)	1,350 万円
群馬県が整備する林道草喰八丁河原線の工事負担金など	1,563 万円
森林組合が整備する作業道の補助金など	167 万円

財 源

県からの補助金	1,123 万円
町の負担	1,957 万円
町の負担のうち借入金(町債)	(400 万円)



6 1 企業誘致の促進

700 万円

町内に新規進出または規模拡大した企業や店舗に対し、企業誘致促進事業補助金(固定資産税相当額、下水道受益者分担金の1/2など)を交付しています。

主な経費

企業誘致促進事業補助金(町内に新規進出又は増築した企業など)	700 万円
--------------------------------	--------

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	300 万円
町の負担	400 万円

6 2 商工業者への金融支援

908 万円

町内の中小企業者の育成と商工業の振興を図るため、町小口資金融資利用者に対する保証料補助、利子補給等を行います。

主な経費

小口融資資金利子補給金（130件分）	750 万円
小口融資資金信用保証料補助金（70件分）	150 万円
その他経費	8 万円

財 源

町の負担ほか	908 万円
--------	--------

6 3 創業・事業継続支援と空き店舗の活用

470 万円

町の創業支援事業計画に従って、町と連携する事業者等が行う創業支援の取組みに要する経費の一部を補助し、町内における新たな創業を促すとともに新規事業者の育成、雇用の創出を図ります。また、事業継続・拡大に取り組む店舗等を支援する店舗継続・拡大サポート事業補助金を継続し、地域経済の活性化を目指します。

主な経費

空き家空き店舗等活用支援事業補助金（2件）	125 万円
創業支援事業者補助金	50 万円
新規創業支援補助金	25 万円
店舗継続・拡大サポート事業補助金 補助率1/4 上限30万円	270 万円

財 源

町の負担	470 万円
------	--------

6 4 那須地区こいのぼりの里整備事業【新規】

1,260 万円

那須地区こいのぼりの掲揚作業台の修繕、ワイヤーロープの交換、掲揚作業台へのアクセス道を整備します。

主な経費

こいのぼりの里整備工事	1,260 万円
-------------	----------

財 源

町の負担	1,260 万円
町の負担のうち借入金(町債)	(1,170 万円)

6 5 観光イベント

1,942 万円

城下町小幡さくら祭り「武者行列」や、アンブレラスカイ(総合公園)、花火大会、もみじウオークを開催するほか、プロレス興行を予定しています。観光資源を活用したイベントの開催により、町への誘客と地域振興を目指します。

主な経費

委託料、記念品などイベントに係る経費	1,838 万円
プロレス興行	104 万円

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	600 万円
プロレスチケット販売代金	100 万円
町の負担など	1,242 万円



6 6 生活道路の維持修繕

3,464 万円

舗装の打換えや外側線などの道路標示更新により、町道の維持修繕を行い、利用者の利便性や安全性の向上を図ります。

主な経費

測量・施設管理業務委託、道路・水路修繕工事、道路維持補修工事など	3,464 万円
----------------------------------	----------

財 源

国からの補助金	190 万円
町の負担など	3,274 万円

人々の生活に不可欠な基盤の一つである道路整備を行いながら、平常時はもとより災害時にも、住民が安全で安心して通行できる道づくりを目指します。

主な経費

道路改良工事費、設計委託費、用地購入費、補償費 1億4,920 万円

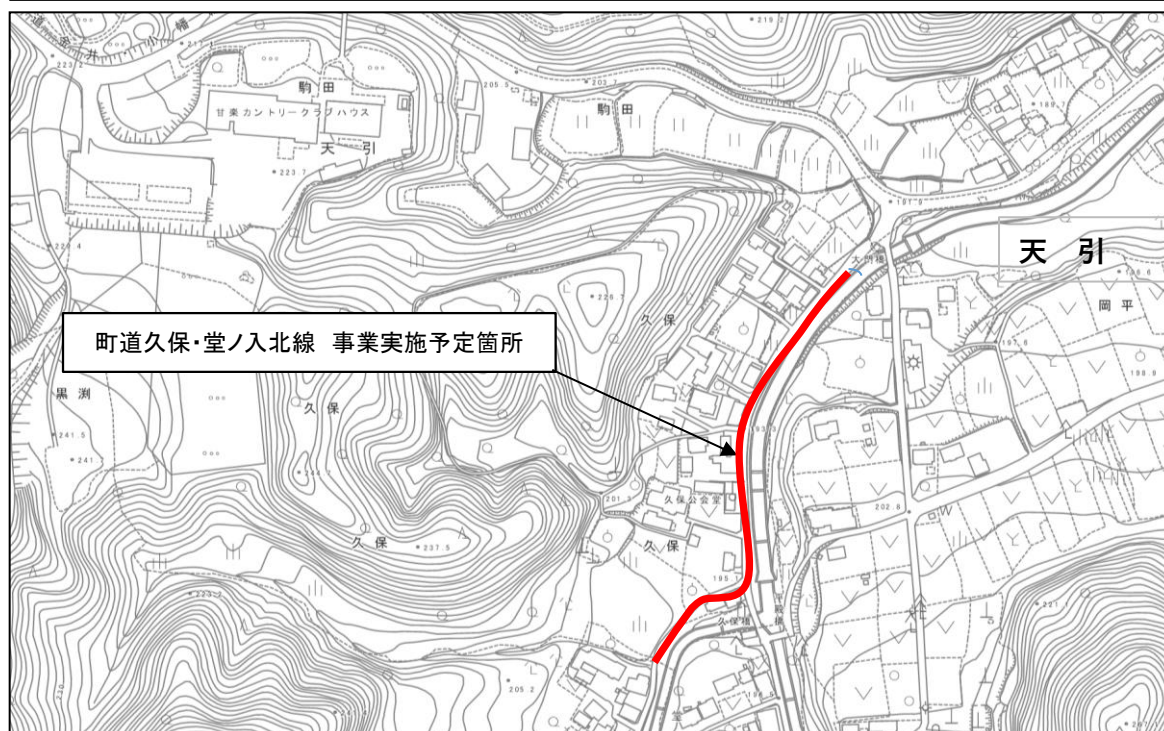
(天王・下平線、久保・堂ノ入北線舗装復旧工事など)

財 源

国からの交付金 5,810 万円

町の負担 9,110 万円

町の負担のうち借入金(町債) (5,130 万円)



68 橋梁の維持補修

3,200 万円

甘楽町橋梁長寿命化計画により、町内の老朽化した橋梁の計画的な維持補修を進めています。

主な経費

橋梁長寿命化修繕計画点検業務委託	2,150 万円
鵜野神社橋修繕工事	1,050 万円

財 源

国からの交付金	1,705 万円
町の負担	1,495 万円
町の負担のうち借入金(町債)	(1,250 万円)

69 公園の整備

9,570 万円

福島幼稚園跡地、総合公園、大手門周辺の公園等整備により、親しまれる空間づくりを図るとともに、魅力ある地域づくり、生活環境の整備に努めます。

主な経費

福島幼稚園跡地公園整備	2,770 万円
総合公園周辺整備	3,800 万円
大手門周辺整備	3,000 万円

財 源

国からの交付金	3,460 万円
町の負担	6,110 万円
町の負担のうち借入金(町債)	(2,210 万円)

70 木造住宅の耐震化

140 万円

耐震診断士を派遣して木造住宅における耐震状況の調査を行い、耐震基準が確保されていないと判断された住宅の耐震改修工事を支援するものです。

主な経費

木造住宅耐震診断士派遣事業	10 万円
木造住宅耐震改修補助金	100 万円
木造住宅耐震シェルター等設置工事補助金	30 万円

財 源

国からの交付金	70 万円
県からの補助金	32 万円
町の負担	38 万円

7 1 住宅リフォームの補助

200 万円

町内の業者を活用して住宅をリフォームした場合に、その対象費用の一部を補助します。補助率は10%ですが、中学生以下の子どもがいる世帯は20%に引き上げています。限度額は20万円です。

主な経費

住宅リフォーム補助金	200 万円
------------	--------

財 源

町の負担	200 万円
------	--------

7 2 広域の消防と救急体制の整備

2億6,440 万円

消防や救急業務は、甘楽町と富岡市、下仁田町、南牧村の4市町村で構成する富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合(事務所は富岡市富岡)が共同で運営しています。各市町村の人口や財政規模に応じて経費を負担しています。

主な経費

富岡甘楽広域消防本部負担金	2億6,440 万円
---------------	------------

財 源

町の負担	2億6,440 万円
------	------------



7 3 甘楽町消防団の運営

2,149 万円

甘楽町消防団は、火災や災害など有事の際に活動するほか、日頃からの予防消防や訓練活動をしています。

主な経費

消防団員報酬	568 万円
--------	--------

消防団員出動報酬	700 万円
----------	--------

消防団活動支援金	140 万円
----------	--------

準中型運転免許取得費補助金 4件分	73 万円
-------------------	-------

その他(活動服、補償負担金、消防援助隊への活動支援金など)	668 万円
-------------------------------	--------

財 源

町の負担	2,149 万円
------	----------

【消防団管轄区域及び基準団員数】

部 名 等	管轄区域	団員数(人)
正副消防団長	全域	2
正副第1分団長	第1分団管轄内	2
正副第2分団長	第2分団管轄内	2
第1分団第1部	小幡(第1区)、国峰、善慶寺	18
第1分団第2部	小幡(第2区、第3区)、上野、轟	18
第1分団第3部	秋畑	15
第2分団第1部	福島、小川、白倉(第21区)	22
第2分団第2部	白倉(第22区、第23区)、天引	20
第2分団第3部	金井、造石、庭谷	20
機能別団員	有事の際、所属部で出動	10
機能別ラッパ隊員	式典で活動	5

7 4 消防ポンプ自動車更新【新規】

2,741 万円

第2分団第1部消防ポンプ自動車の更新により、消防力を維持・強化して火災をはじめとする災害に備えます。

主な経費

消防ポンプ自動車の更新 2,741 万円

財 源

町の負担 2,741 万円

町の負担のうち借入金(町債) (1,970 万円)

7 5 防災対策【拡充】

2,012 万円

防災訓練の実施、非常用食料品の購入、防災行政無線設備や防災メール配信に係る定期点検の実施、災害対策費用保険の加入により、災害の発生に備えます。また、防災士資格取得に要する費用を補助し、防災スペシャリストの育成を図ります。

主な経費

防災訓練経費、非常用食料品、土のう袋など 115 万円

防災行政無線経費・防災メール配信システム委託料 187 万円

県防災システム衛星回線整備負担金【新規】 1,630 万円

災害対策費用保険料 72 万円

防災士取得補助金など 8 万円

財 源

町の負担 2,012 万円

町の負担のうち借入金(町債) (1,630 万円)

76 外国語教育の推進

2,064 万円

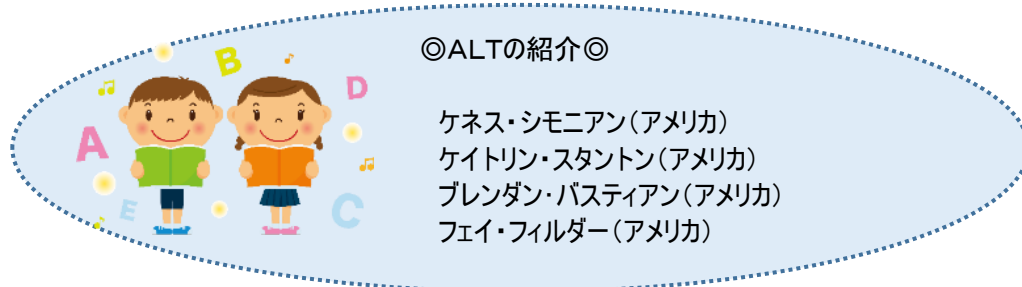
外国青年を小・中学校及び認定こども園、保育園へ派遣することにより、幼い時から英語に親しむ環境を整備するとともに、正確な発音の習得と外国人と触れ合う機会の増加により、国際感覚を身につけるための教育推進に取り組みます。

主な経費

英語指導助手(ALT)4名の報酬	1,686 万円
社会保険料、旅費など	378 万円

財 源

町の負担	2,064 万円
------	----------



77 小学校の運営

1億4,538 万円

用務員、学校支援員、特別支援教育支援員、心の教育相談員、学校司書を各小学校に配置し、児童へのきめ細かな対応や教育指導を実施します。また、情報教育支援業務や水泳指導業務を委託してICT教育、水泳授業の充実に取り組みます。

施設の維持管理においては、継続して老朽化した机と椅子を計画的に更新するほか、福島小学校プール解体工事、新屋小学校プール跡地駐車場整備工事を実施します。

主な経費

小学校運営経費	8,790 万円
小学校施設維持管理経費	2,379 万円
小学校教育振興経費	984 万円
福島小学校プール解体工事【新規】	1,368 万円
新屋小学校プール跡地駐車場工事	1,017 万円

財 源

国からの補助金	47 万円
学校建築基金繰入金	2,380 万円
柴田教育基金繰入金	231 万円
町の負担など	1億1,880 万円



◎児童数(4月7日現在)

小幡小	135人
福島小	143人
新屋小	230人
小学校合計	508人

7 8 中学校の運営

7,726 万円

用務員、学校支援員、特別支援教育支援員、心の教育相談員、部活動指導員を配置し、生徒へのきめ細かな対応や教育指導を実施します。また、すべての生徒が安心して学習や運動に取り組むことができるように、スクールバス運行経費、机・椅子の更新費用、就学援助費などを計上しています。

主な経費

中学校運営経費	5,128 万円
中学校施設維持管理経費	1,260 万円
中学校教育振興経費	1,338 万円

財 源

国からの補助金	51 万円
県からの補助金	57 万円
柴田教育基金繰入金	219 万円
町の負担など	7,399 万円

◎甘楽中学生数(4月7日現在)
1年生 97人 2年生 101人 3年生 103人
中学校合計 301人

7 9 生涯学習の推進

192 万円

年齢や性別を問わず学習機会を提供し、誰もが参加しやすい学習環境の整備に取り組むことにより、生涯学習を推進します。

主な経費

地区生涯学習推進協議会補助金など	117 万円
公民館教室講師謝礼金など	23 万円
町文化協会補助金など	52 万円

財 源

公民館教室負担金	4 万円
町の負担	188 万円



80 文化財保護と民俗芸能の継承

758 万円

貴重な文化遺産の保存整備を進めるとともに、町内各地域に伝わる民俗芸能・伝統行事の継承を支援することにより、地域コミュニティの維持・強化を図ります。今年、老朽化した麻場城址見晴台の建替え工事を実施します。

主な経費

文化財の管理、保存整備に係る経費	180 万円
麻場城址見晴台建替え工事【新規】	271 万円
民俗芸能大会	57 万円
第25区祭事用品整備補助金	250 万円

財 源

自治総合センター助成金	250 万円
ふるさとづくり寄附金（ふるさと納税）	100 万円
公共施設等整備基金繰入金	270 万円
町の負担	138 万円



81 国指定名勝 楽山園の運営

2,745 万円

県内唯一の大名庭園として復原整備された名勝楽山園を適切な維持管理に努めながら、その魅力を県内外に情報発信します。

主な経費

人件費、庭園維持管理、イベント経費など	2,745 万円
---------------------	----------

財 源

観覧料収入	801 万円
物品販売収入など	284 万円
ふるさとづくり寄附金（ふるさと納税）	1,100 万円
町の負担	560 万円



8 2 文化会館の運営

8,827 万円

町民が身近に芸術・文化に親しめる文化施設として、自主事業の実施と運営及び会館の適切な維持管理に努めます。

主な経費

かんら薪能、ミュージカル、歌謡コンサートなど公演経費	1,000 万円
人件費、光熱費、維持管理費など	2,968 万円
特定天井改修、照明LED化工事【新規】	4,859 万円

財 源

入場料、会館使用料など	843 万円
ふるさとづくり寄附金（ふるさと納税）	200 万円
町の負担	7,784 万円
町の負担のうち借入金（町債）	(4,710 万円)



◎予定している公演

中村美津子・山本譲二コンサート
津軽三味線 吉田兄弟コンサート
宝生流「かんら薪能」
音楽の絵本 コンテネッツァ

8 3 図書館（ら・ら・かんら）の運営

3,522 万円

図書の充実を図り、子育て担当や学校と連携し、読書習慣の啓発を推進します。また、施設の適正な維持管理を進めます。

主な経費

図書館運営経費（人件費、維持管理費）	1,902 万円
電子書籍システム使用料・保守委託料など	781 万円
照明LED化工事【新規】	586 万円
図書購入費など	253 万円

財 源

施設使用料など	53 万円
町の負担	3,469 万円
町の負担のうち借入金（町債）	(440 万円)



8 4 長岡今朝吉記念ギャラリーの運営

1,463 万円

名誉町民故長岡今朝吉翁からの寄贈絵画、人間国宝須田賢司氏の作品などの適切な管理を行うとともに、一般公開し、芸術文化の啓発と向上を図ります。

主な経費

ギャラリー運営経費(人件費、維持管理費) 1,463 万円

財 源

長岡今朝吉福祉基金繰入金など 870 万円

町の負担 593 万円

8 5 さくらマラソン大会の運営

816 万円

町の長距離走の普及と地域振興を図り、町外・県外から参加者を募集し、観光・特産品などの町の魅力をPRします。

主な経費

第42回大会(令和7年度)の開催経費 744 万円

第43回大会(令和8年度)の準備経費 72 万円

財 源

ランナー参加費、企業協賛金 359 万円

スポーツ活動助成金 160 万円

町の負担 297 万円



8 6 学校給食の運営

1億4,525 万円

町内産の食材の使用を推進し、地産地消に取り組むとともに、成長期にある子ども達に栄養バランスのとれたおいしい給食を提供します。令和7年度から調理と配送を民間事業者に委託して、運営の効率化を図ります。

主な経費

調理・配送等業務委託料 5,502 万円

給食センター人件費、維持管理費 3,154 万円

学校給食用の食材購入 5,869 万円

財 源

給食費(教職員等)など 688 万円

企業版ふるさと納税 100 万円

町の負担 1億3,737 万円

◎給食センターで作っている食数
令和7年度は、児童、生徒、教職員を
合わせて、1日あたり920食を作っています。

8 7 学校給食の無料化

5,003 万円

令和4年度から、子育てに伴う負担を軽減するため、小学校及び中学校の児童生徒の給食費を無料化しています。

減収額

給食費の減収(小学生分) 57,600円×508人(7年度児童数見込み)

給食費の減収(中学生分) 69,000円×301人(7年度生徒数見込み)



8 8 借入金（町債）の返済

4億3,100 万円

町では、事業費が大きい道路や施設を整備するときなどに、国や金融機関などから町債と呼ばれる事業用資金を借入れる場合があります。

町債は、一度に借入れする額が高額であることや、世代間負担の公平化を図る意味から、長い期間(5年～30年)をかけて返済します。

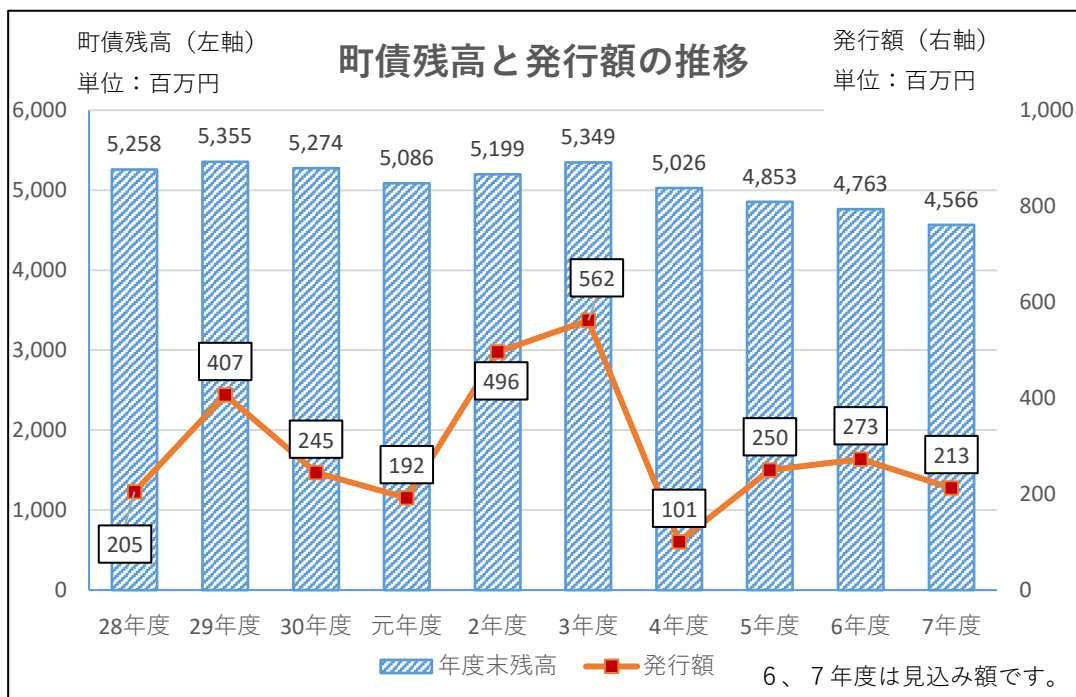
主な経費

借入金の元金返済分 4億999 万円

借入金の利子支払分 2,101 万円

財 源

町の負担 4億3,100 万円



89 国民健康保険事業

14億5,910 万円

国民健康保険は、農業者や自営業者などが加入する医療保険制度です。令和7年度の加入者(被保険者)は2,630人を見込んでいます。
運営にかかる財源は、加入者が医療機関窓口で支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う国保税 ②町一般会計からの繰入金 ③県からの補助金などでまかなっています。
医療費の支払いは、医療機関へ直接支払うのではなく、群馬県国民健康保険団体連合会を通じて支払われます。

主な経費

医療費などの保険給付費	9億9,947 万円
群馬県への納付金(医療給付費分)	2億7,541 万円
群馬県への事業費納付金(後期高齢者支援金分)	9,665 万円
群馬県への事業費納付金(介護納付金分)	3,115 万円
疾病予防のための健康診査、人間ドック補助など	2,826 万円
国保事業運営のための事務費など	1,548 万円
その他	1,268 万円

財 源

国民健康保険税	2億6,543 万円
県からの補助金	10億2,970 万円
町一般会計からの繰入金	7,676 万円
国民健康保険基金からの繰入金	5,895 万円
前年度からの繰越金	2,000 万円
その他	826 万円



★今年度の特徴

- 物価高騰対策として、医療費に係る国保税率(所得割額・均等割額)を引下げ、国保被保険者の負担軽減を図ります。また、産前産後期間の国保税は、引き続き減額します。
- 子育て世帯支援事業として、18歳以下の子どもがいる世帯の経済的負担を軽減するため、国保税均等割相当額を子どもの人数分補助しています。
- 出産育児一時金 1児につき50万円
- 人間ドック助成

・日帰り(半日)	26,000円	・日帰り(1日)	37,000円
・1泊2日	42,000円	・脳ドック	26,000円
- 歯科健康診査の対象を20歳、30歳に加え、6年度から40歳も対象とします。

介護保険は、40歳になると加入し、65歳以上の方は介護が必要と認定された場合にサービスが受けられる制度です。(40～64歳までの人も特定疾病により介護が必要になった場合はサービスを受けられます)

令和7年度の加入者(被保険者)は、65歳以上の1号被保険者を4,484人と見込んでいます。このうち、要介護者と要支援者は608人で、認定率は13.6%です。

運営にかかる財源は、加入者が介護サービスで支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う介護保険料 ②町一般会計からの繰入金 ③国や県からの補助金などでまかっています。

支払いは大きく2つに分けられ、一つは要介護認定者が利用した介護サービスにかかる保険給付費です。もう一つは地域支援事業として介護予防、日常生活支援、地域住民の生活に必要な包括的支援事業にかかる経費です。

主な経費

介護サービスなどの保険給付費	11億3,103 万円
地域支援事業	7,544 万円
介護保険事業運営のための事務費など	1,498 万円
その他	125 万円

財 源

介護保険料	2億8,191 万円
国からの補助金	2億6,215 万円
県からの補助金	1億8,104 万円
支払基金からの交付金	3億1,528 万円
町一般会計からの繰入金	1億8,049 万円
その他	183 万円



★今年度の特徴

介護保険事業では、保険給付の円滑な実施のため、3年間で1期とする介護保険事業計画を策定しています。第9期計画(令和6～8年度)では、住民税非課税世帯等の低所得者の負担軽減を図るため、420万円以上の高額所得者の保険料が増額となりました。これまでの基準額は次のとおりです。

	H30～R2	R3～R5	R6～R8
月額	5,100 円	5,750 円	5,750 円
年額	61,200 円	69,000 円	69,000 円

9 1 後期高齢者医療

2億1,350 万円

後期高齢者医療は、75歳(寝たきり等の場合は65歳)以上の方が加入する医療保険制度です。令和7年度の加入者(被保険者)は2,270人を見込んでいます。

運営にかかる財源は、加入者が医療機関窓口で支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う後期高齢者医療保険料 ②町一般会計からの繰入金などでまかっています。

医療費の支払いは、医療機関へ直接支払うのではなく、群馬県後期高齢者医療広域連合を通じて支払われます。

主な経費

後期高齢者医療広域連合会納付金	2億1,236 万円
-----------------	------------

その他事務費など	114 万円
----------	--------

財 源

後期高齢者医療保険料	1億5,345 万円
------------	------------

町一般会計からの繰入金	5,979 万円
-------------	----------

その他	26 万円
-----	-------



水道事業（収益的支出）

2億5,660 万円

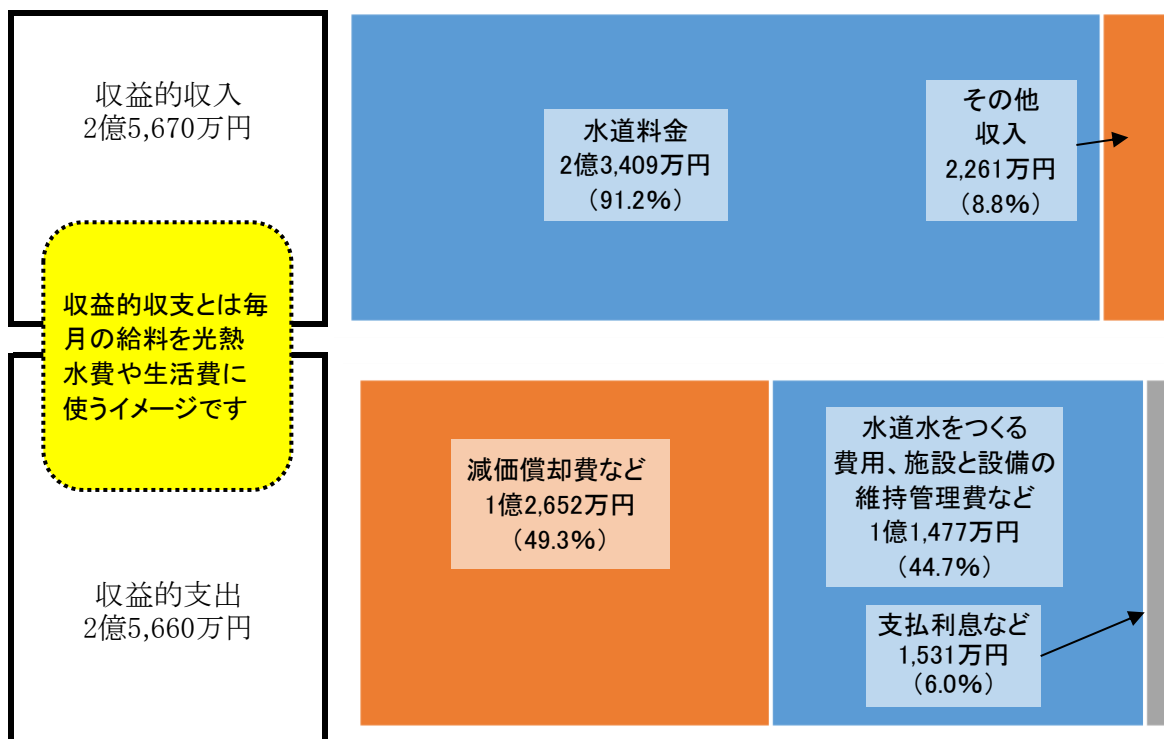
（資本的支出）

2億1,210 万円

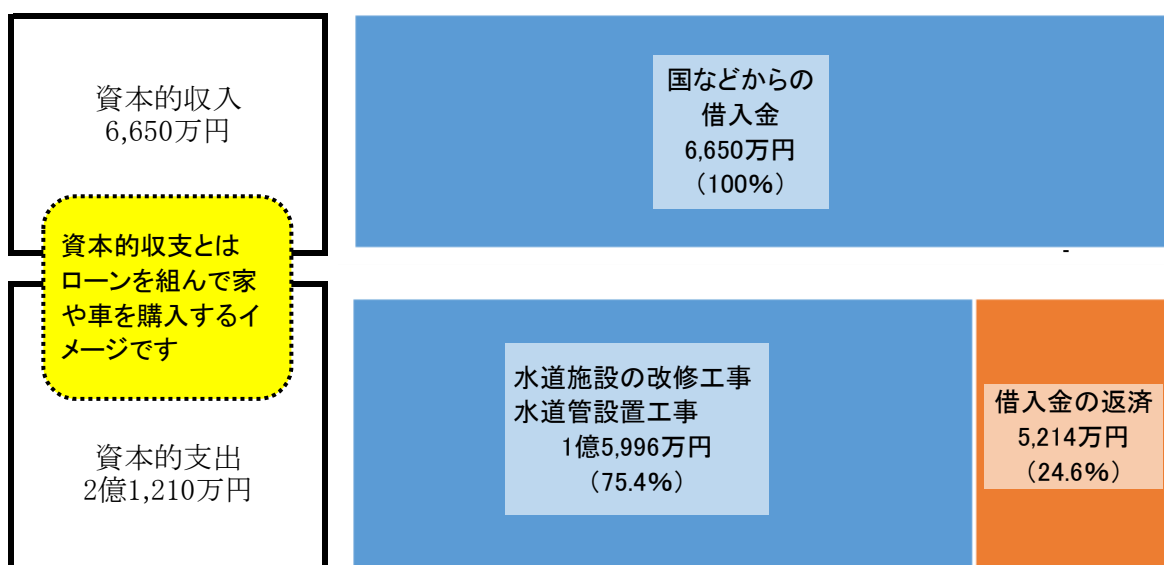
安心・安全で良質な水を安定的にお届けするために、老朽化した施設・設備の改修や水道管の布設替え工事などを実施しながら、適正な施設・設備の維持管理を進めます。

会計は「公営企業会計」で経理し、収益的収支（現在のために使うお金）と資本的収支（将来のために使うお金）の大きく2つに区分されます。

▼現在のために使うお金 ※営業活動により得た収益は建設改良積立金などに充てられます。



▼将来のために使うお金 ※収支による不足額(1億4,560万円)は自己資金を補填します。





★今年度の特徴

<水道データ>

給水戸数
5,411戸
年間総給水量
174万2,200m³
1日平均給水量
4,773m³

<主な事業>

県道改良に伴う水道管工事(金井地内)	3,500万円
町内配水管布設工事	6,000万円
深井戸さく井工事(天引地内)	2,000万円



白倉浄水場

公共下水道事業（収益的支出）

3億8,480 万円

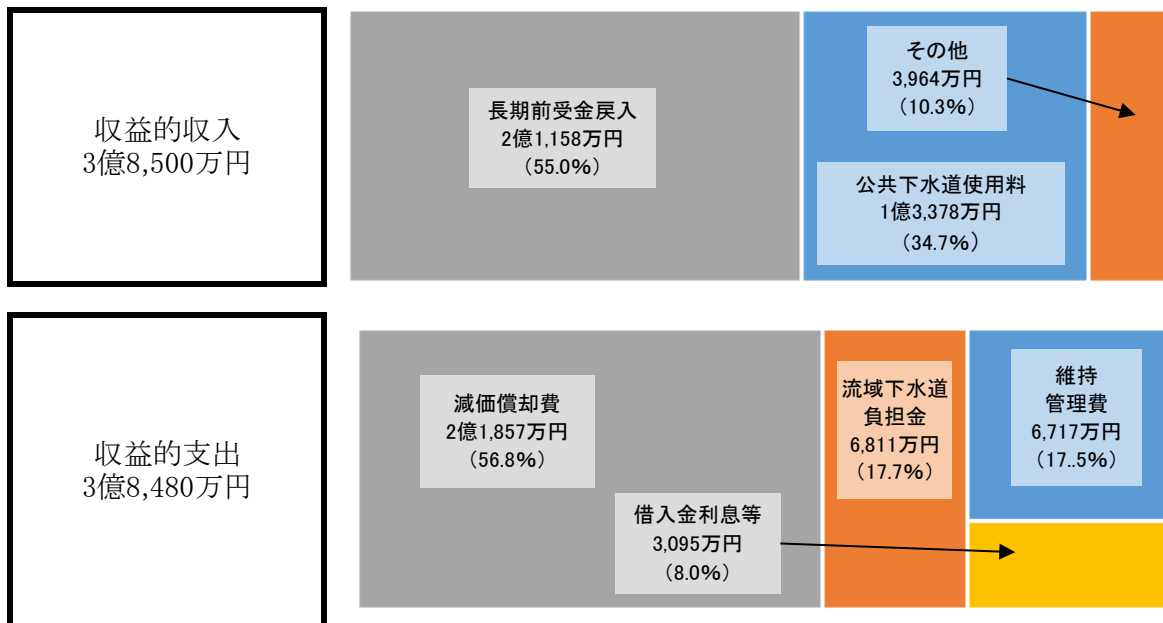
9 3

（資本的支出）

2億4,242 万円

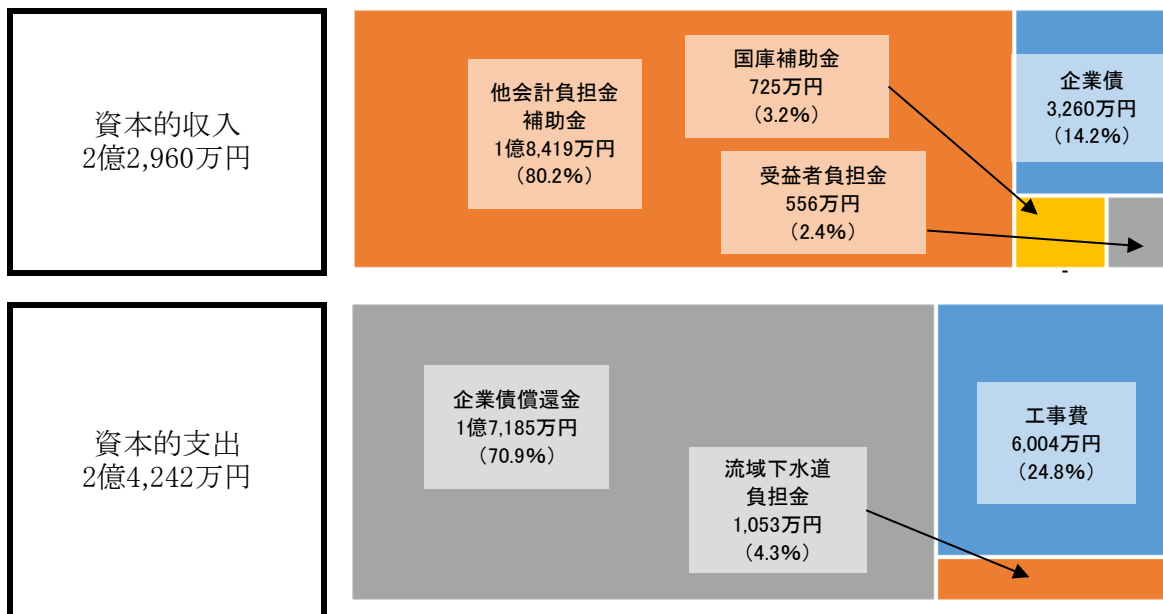
公共下水道事業は、生活雑排水などの汚水进行处理できる環境を整えることで、住民の快適で衛生的な生活環境を維持・向上させるとともに、河川の水質を守り、次世代に豊かに自然を残すために計画的に整備を進めています。

▼現在のために使うお金

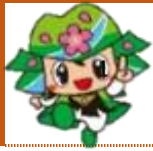


▼将来のために使うお金

※収支による不足額(1,282万円)は自己資金で補てんします。



排水戸数 3,491戸 年間総処理水量 100万 ³ m 1日平均処理水量 2,740 ³ m	<主な事業>	
	・県央処理区維持管理負担金	6,811万円
	・管渠布設工事	2,000万円
	・舗装本復旧工事	500万円



農業集落排水事業（収益的支出）

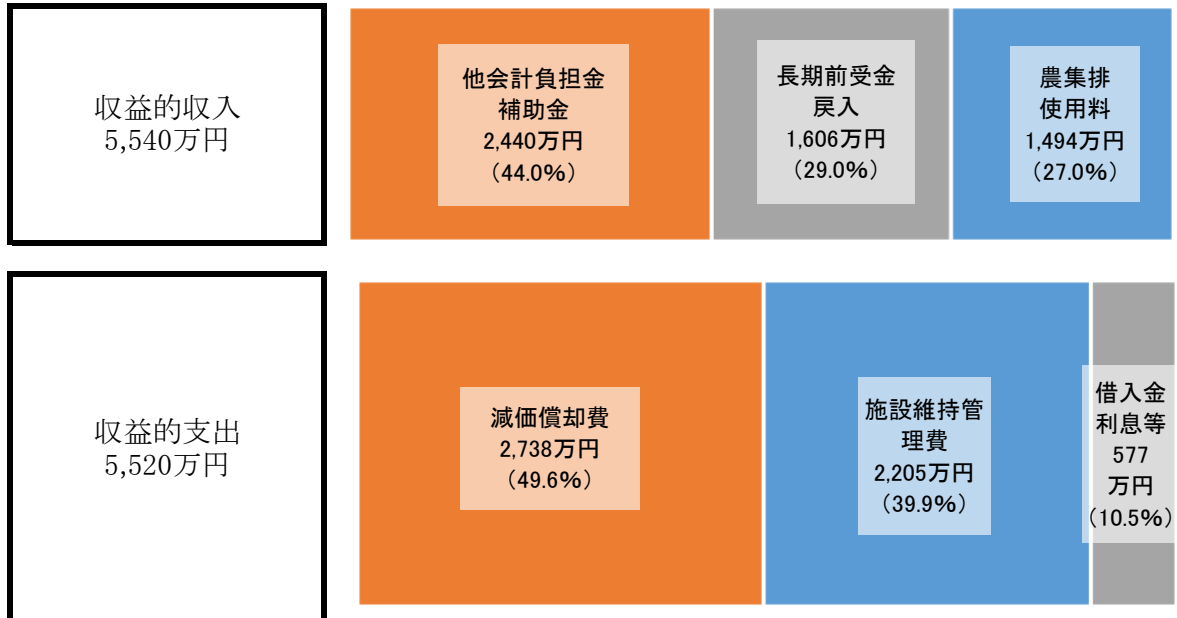
5,520 万円

（資本的支出）

3,533 万円

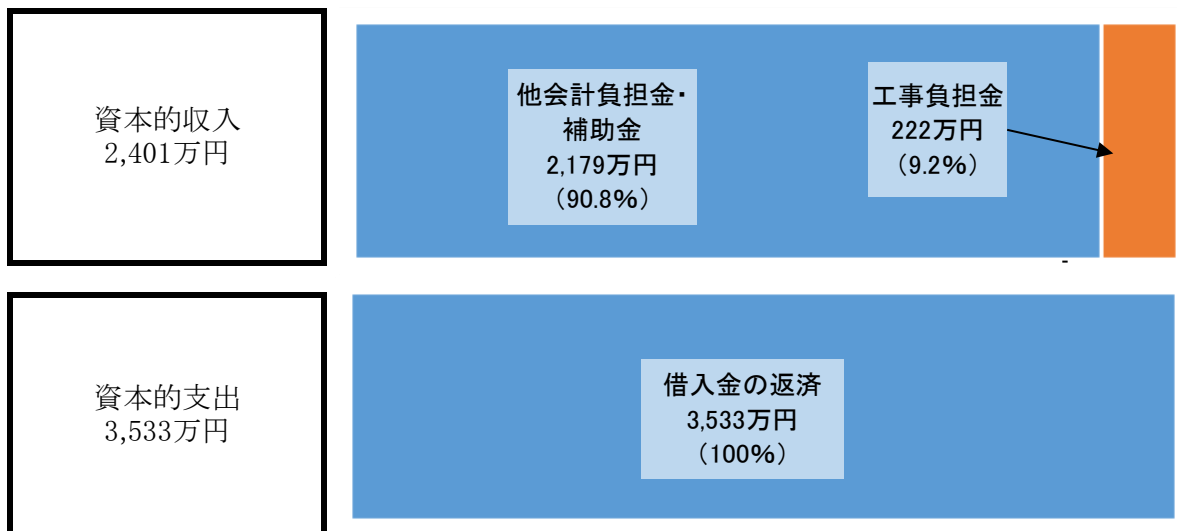
農業用水の水質保全、農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の保全に寄与するために、施設の維持管理を計画的に実施します。また、令和9年度の公共下水道への統合に向けて適正な施設管理に努めます。

▼現在のために使うお金



▼将来のために使うお金

※収支による不足額(1,132万円)は自己資金で補填します。



<農業集落排水>

排水戸数
438戸
年間総処理水量
11.4万m³
1日平均処理水量
312m³

<主な事業>

・処理施設維持補修工事	220万円
・管路維持補修工事	280万円

今年のまちづくり予算

令和7年4月発行

甘 楽 町

(企画課財政係)

☎ 0274-74-3134 (ダイヤルイン)

メール zaisei@town.kanra.lg.jp